

2024年1月7日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第40号(通算3372号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

しんねんれいはい
新年礼拝

こうたんせつだい しゅじつれいはい
(降誕節第2主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しんと てがみ
エフェソの信徒への手紙

しやう せつ
2章 11-13節

きんび か
賛美歌

ばん くだい かみ
21-367番「偉大なみ神の」(©著作権消滅)

せいしよ
聖書

ふくいんしよ
ヨハネによる福音書

しやう せつ
1章 29-34節

いの
お祈り

きんび か
賛美歌

ばん ことり と き ふゆ
21-254番「小鳥も飛び去る冬のさなか」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ

「私の神さま」

みづたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

きんび か
賛美歌

ばん こひつじ
21-358番「小羊をばほめたたえよ！」(©教団讚美歌委員会)

ユーカーリスト
聖餐

みづたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

きやうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

きんび か
賛美歌

ばん な
21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献げ物(*)

は けん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ふく
祝福

みづたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

こう そう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

^{まね}招きの詞 ^{ことば} エフェソの信徒への手紙2章11-13節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹¹だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前は肉において異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。¹²その時、あなたがたはキリストなしに生き、イスラエルの^a国籍とは無縁で、約束の契約についてはよそ者で、世にあって希望を持たず、神もなく生きていました。¹³しかし、以前はそのように遠く離れていたあなたがたは、今、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。
(脚注 a:直訳「市民権」)

聖書 ヨハネによる福音書1章29-34節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

²⁹その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。³⁰『私の後から一人の人が来られる。その方は私にまさっている。私よりも先におられたからである』と私が言ったのは、この方のことである。³¹私はこの方を知らなかった。しかし、この方がイスラエルに現れるために、私は、水で洗礼(バプテスマ)を^{さず}授けに来た。」³²またヨハネは証しして言った。「私は、^{ほと}霊が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。³³私はこの方を知らなかった。しかし、水で洗礼(バプテスマ)を授けるようにと、私をお遣わしになった方が私に言われた。『霊が降って、ある人にとどまるのを見たら、その人が、聖霊によって洗礼(バプテスマ)を授ける人である。』³⁴私はそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証ししたのである。」



《先週のお祈りより》2023年12月31日 歳末礼拝

祈りは私たちの生き方を変えることができます。そのことに信頼して、共に
お祈りしましょう。

私たちの神、私たちは今、過ぎ去ろうとしているこの1年を省み、私たちが
たどってきた歩みを振り返り、あなたに感謝をささげます。私たちが経験した
沢山の驚くべきことのゆえに、笑いと言気さのゆえに、喜びの機会のゆえに、
私たちを幸せにした瞬間、大きなこと、小さなことのゆえに。どうか、私たち
を助け、そのような時が、あなたから出たものであるということを認めさせて
ください。そのような素晴らしい数々の思い出を大切に、あなたに感謝を
ささげることができますように。

私たちの神、私たちはまた、過ぎ去ろうとしているこの1年に起こった悲し
いことや、私たちの生活の中で、完成されなかったこと、達成できなかったこ
との数々を思い起こします。この世界には重すぎる課題が多く、私たちの小さ
な肩ではそれらはとても担うことが出来ませんでした。また私たちには共に旅
を始めた仲間がいましたが、途中で別れなければならないこともありました。
それは誤解のゆえであったり、病のゆえであったり、死別のゆえであったりし
ました。

私たちの神、私たちは、人生という旅路を独りで歩むことはできません。私
たちと共に旅する、旅の仲間のために祈ります。私たちが共に一つの家族であ
るという感覚を持つことができるように、また、お互いに大切にしているとい
うことを感じるができるように。とりわけ、この地にあって、差別や偏見、
疎外に直面している方々と、私たちが一つになることができますように祈りま
す。私たちが新しく出会うまだ知らない人たちを、怖がる必要がないというこ
とを私たちに学ばせてください。見知らぬ相手として不安に思うのではなく、
あなたがすべての人を大切にされているゆえに、その方々を支えることができ
ますように。

(出典・参照：「大晦日のメディテーション」『世界の礼拝』日本基督教団出版局)

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (2023年12月31日) 歳末礼拝

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数5回 感謝

◎次週 2024年1月14日(日) 降誕節第3主日礼拝

招きの詞 ガラテヤの信徒への手紙 1章11b-12節

聖書 ヨハネによる福音書 1章35-51節

メッセージ 「友と共に」牛田匡牧師

賛美歌 472番(©JASRAC)、419番(©JASRAC)、563(©JASRAC)

礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。

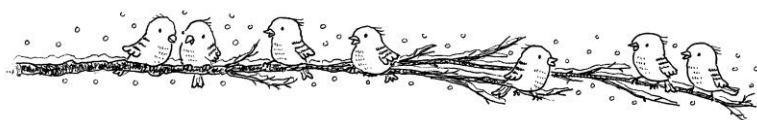
◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に1月期の「教会を考える会」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・1月1日(月)16時10分頃に発生した能登半島を中心としたマグニチュード7.6、最大震度7の地震により、能登半島地域を中心に、また教団中部教区の教会を中心に多くの被害が報告されています。日本基督教団および中部教区ではそれぞれに募金が始まっています。お祈りをもってご協力をいただきますようお願い申し上げます。

◎募金期間：特に定めず、目標額：特に定めず、送金先加入者名「日本基督教団社会委員会」、郵便振替00150-2-593699 ※通信欄に「能登半島地震緊急救援募金」とお書きください。献金用途にご指定がある場合は、通信欄に「人道的支援のため」や「教会等再建支援のため」などご記入ください。

◎募金期間・目標額：特に定めず、送金先加入者名「日本基督教団中部教区」郵便振替00830-7-52037 ※通信欄に「能登半島地震募金」とお書きください。用途：被災された中部教区内諸教会・伝道所等における教会活動と再建支援のため。

なお中部教区による「2024能登半島地震 教会等被害状況」など最新のお知らせは、下記の中中部教区のウェブサイトにて随時更新されていますので、ご覧ください。



中部教区のウェブサイト

<http://uccj-chubu.com/>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/14	牛田牧師	おにぎり支援
1/21	水谷牧師	誕生者祝福式
1/28	武久牧師 (住道一粒教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 14時～ 河内地区有志教会女性会 (於:住道一粒教会)
2/4	牛田牧師	教会を考える会

